

モーリス・ベジャール氏に師事し、シルビー・ギエムと共演した！

元ベジャール・バレエ団

スタン・カバルールエ 率いる

ニューカレドニア・コンテンポラリー・ダンス・カンパニー 新作発表来日公演決定！！

この秋必見！！

「天国にいちばん近い島」として有名な美しいニューカレドニアの有名な人類誕生に関する神話「テア・カナケ Téa Kanaké」から生まれた作品。

『A l'aube de la Nouvelle Lune “ 新月の夜明けに ”』

～モーリス・ベジャール氏から受け継いだバレエの伝統とニューカレドニアの伝統の融合～

A l'Aube de la Nouvelle Lune “ 新月の夜明けに ”

スタン・カバルールエ 芸術監督・振付

@ DDD AOYAMA CROSS THEATER

東京都渋谷区渋谷1-3-3 SIA 青山ビルディング B1F

2013年10月11日(金) 開場19:00 開演19:30

10月12日(土) 開場13:30 開演14:00

10月13日(日) 開場14:30 開演15:00

10月14日(月) 休演日

10月15日(火) 開場19:00 開演19:30

10月16日(水) 開場19:00 開演19:30

チケットの販売は8月30日(金)より、
イープラス・DDDストア・Confettiにて

料金 一般¥4,800 / 学生¥2,000 (全席指定)



出演ダンサー紹介



ジュリー・フォルタン

ニューカレドニア・生まれのアジア人。2006 年よりスタン・カバル＝ルエのもとでその才能を発揮。クラシックからコンテンポラリーまで、みごとにテクニックで伝統的な動きからアカデミックな動きまで融合したスタイルのダンスをはつらつと踊りこなしている。



チュアイ・マショロ

ニューカレドニア生まれのメラネシア人。地元のダンスグループでダンスへの情熱を燃やしている。新しいスタイルのダンスの発見と習得に興味を持ち、スタン・カバル＝ルエの振付に出会った。ニューカレドニア・コンテンポラリー・ダンス・カンパニーに於いて、彼の存在はとても重要である。



フィシ・タオ

カンボジア・中国出身。ヌメアのプライベートダンス学校で学び、数々のダンス・演劇芸術を体験してきた。2012 年 4 月 21 日付オーディションで抜擢され、このカンパニーのメンバーとなった。彼女の複数のオリジンがマルチカルチャーなカンパニーのアイデンティティをさらにいっそう輝かせてくれている。



タンギ・リコ

ヌメア出身。ダンスへの情熱からスタン・カバル＝ルエと出会い、2005 年カルバル・ヌメア・バレエ団に入団。コンテンポラリーダンサーとしての才能をすぐに発揮すると同時に舞台表現でのコメディアンでもある。マルチカルチャーなカンパニーにとって重要な存在。また、サルサやタンゴなど社交ダンスも踊る多才なダンサーである。



マリ＝テレーズ・シウエン

メラネシア出身。2013 年カナック・アートエキスポのテーマで新たな演目創作のために加わった。地元でダンスを学んだマリテはニューカレドニアのみならず様々な国際的な作品に出演している。と同時に、自国ではよく知られたコメディアンでもある。



シャルロリー・トムソン

ヴァヌアツ出身（ニューカレドニアに近い島）。地元ダンスグループでチュアイとともにダンスを演じている。自己を解放し、新しいスタイルに挑戦したいという思いが、この新たな表現方法発見に導いてくれた。カンパニーに無くてはならない複数民族のアイデンティティをもったダンサーである。

A l'aube de la Nouvelle Lune “新月の夜明けに”

【公演日時】※開場は 30 分前

2013年10月11日(金)開場19:00 開演19:30

12日(土)開場13:30 開演14:00

13日(日)開場14:30 開演15:00

14日(月)休演日

15日(火)開場19:00 開演19:30

16日(水)開場19:00 開演19:30

【場所】DDD青山クロスシアター

東京都渋谷区渋谷 1-3-3 SIA 青山ビルディング B1F

【チケット】一般 ¥4800／学生 ¥2000

(税込・全席指定)

『A l' Aube de la Nouvelle Lune 新月の夜明けに』について

人類誕生の神話、「Téa Kanaké テア・カナケ」より発想を得、2012 年に創作。

テア・カナケの時間とともに移り行く人類の 5 つの大きな人生のステージをダンサーが演じる。



All photo by ©Eric Aubry

ニューカレドニアの神話 「テア・カナケ」

この世が誕生するとき、月は自分の歯を太平洋のとがった岩の上に置きました。光がきらきらと輝くと、この歯が砕け、そこからいろいろな生命が誕生しました。岩の上にとどまったものはトカゲになりました。海の中に潜っていったのは、ウナギになり、もう一つはウミヘビになりました。最も大切なかけらは、人間のテア・カナケになったのです。

テア・カナケは何も知らずに生まれたので、「地球の上で生きていくために何が必要なのか教えて」と精霊たちに頼みました。魔法の石やハーブ、畑の仕事、植物についてなどです。

こうして、テア・カナケはヤムイモを植えて、タロイモを栽培しました。また、庭を守ってくれる植物も栽培しました。鶏は耕作や農業の豊かさの象徴です。羽ばたく白い羽は植物の魔法の秘密を表しています。

その逆に、ネズミは収穫を荒らします。

精霊たちはテア・カナケに社会生活を教えます。そこでは初めてヤムイモを交換し、自分の家(case)を建てました。南洋杉を植えて、神聖な場に境を設け、初めての言葉を話します。

人間の一生を知るために、今度はテア・カナケは死を知ろうと決意し、精霊たちの体であるパニアンという木の中に入ります。そしてその根っこを通して、地下に通じる死の世界を訪れたのでした。こうして人間の一生を知ったテア・カナケは、その後生まれ変わります。

ニューカレドニアの様々な地域では、トカゲは死のメッセンジャーでお墓に住み、生を買い取ると信じられています。ウナギは逆に、誕生のメッセンジャーだと信じられています。折れた木の幹から新芽がでるように、テア・カナケは、再生のシンボルである、穴のあいた岩を通り抜けます。縞模様のついたウミヘビ、トリコレイエは生物の世界に合流するというイメージがあり、海を出て、浜辺で脱皮し、人間の姿になるのです。

芸術監督・振付

STHAN KABAR-LOUËT

スタン・カバル＝ルエ

1979年6月、ニューカレドニア、ヌメアに生まれ。バレエ教師の母のもと、ダンスを学ぶ。

11年間のヨーロッパ滞在中、ベジャール・バレエ団に入団。7年をモーリス・ベジャール氏のもとで過ごし、ロンドン・サドラーズウェルズ劇場において、シルビー・ギエムとボレロを演じるなど、ベジャール氏の数々の大作を踊る。

2005年、帰国後、初のバレエ団、「カルバル・ヌメア・バレエ」を創設、その後、「第14回バシフィックゲームズ」閉会式の運営を任せられるとともに、ローザンヌ・ベジャール・バレエ団より、2010年12月、《Aliziam O'Est》の創作を依頼される。2012年にはニューカレドニア音楽高等学院でのダンス学科開設の機会に、ダンス・ジェネラルコーディネータの役職に任命される。しかしながら、振付家としての魂の神髄は変わらず、ここに新たなバレエ団、「ニューカレドニア・コンテンポラリー・ダンス・カンパニー」を創設。



チケット
購入方法



① DDD STORE

<http://ddd-store.jp>



② イープラス

<http://eplus.jp/>



③ Confetti

<http://www.confetti-web.com/>

チケット8月30日(金)より販売開始!!

【お問合わせ】(株)フラックス 03-5468-5062 (平日10:00~18:00)

詳細は <http://www.ddd-dance.com> にて